



平成26年6月27日

各 位

上場会社名 M-インターアク  
 代表者 代表取締役社長 木地 英雄  
 (コード番号 7725)  
 問合せ先責任者 専務取締役 木地 伸雄  
 (TEL 045-788-8373)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年1月10日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成26年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,000	520	500	406	40.40
今回修正予想(B)	2,512	419	411	319	31.83
増減額(B-A)	△487	△100	△88	△86	
増減率(%)	△16.3	△19.3	△17.8	△21.3	
(ご参考)前期実績 (平成25年5月期)	1,516	295	329	417	49.69

「1株当たり当期純利益」については、平成25年12月1日付で当社普通株式1株につき100株の割合をもって株式分割したことを踏まえ、前連結会計年度の期首に同株式分割が行われたものと仮定し当該数値を算出しております。

#### 修正の理由

当連結会計年度の当期連結売上高につきましては、(1)当社グループの主力製品であるCCD及びC-MOSイメージャ向け検査用光源装置の国外売上高は、ほぼ堅調に推移しておりましたが、国内主要取引先の一部において設備投資にやや慎重な姿勢が見られたため、前回予想を154百万円下回る見込みとなりました。

(2)一方、太陽光発電関連製品の売上高は、国内において遊休地等の活用のため商品化した「OHISAMA SYSTEM」と企業向け節税商品「OHISAMA償却」の販売は堅調に推移しましたが、前回予想に計画していた大規模太陽光発電所(鹿児島県霧島市)について、電力会社との接続連系手続が遅延しており、設備完了時期が翌期にずれ込むことになったこと等により、333百万円下回る見込みとなりました。

上記の売上高の減少に伴い、営業利益、経常利益及び当期純利益も前回発表予想より減少する見込みとなりました。この結果、通期連結業績は、売上高2,512百万円(当初予想の売上高3,000百万円に比べ16.3%の減少)、営業利益419百万円(当初予想の520百万円に比べ19.3%の減少)、経常利益411百万円(当初予想の500百万円に比べ17.8%の減少)、当期純利益319百万円(当初予想の406百万円に比べ21.3%の減少)を見込んでおります。

以 上